



従来のアナログ電話回線に加えて IP電話回線にも対応



ご存知
ですか？

火災通報装置に関わる 法令が改正されました。

近年、IP電話回線（インターネットプロトコルを用いて音声伝送を行う電話回線）が普及していることから、IP電話回線を使用する場合等の火災通報装置に係る技術上の基準等が定められました。



今回改正された法令、および通知

- 「消防法施行規則の一部を改正する省令」
（平成28年2月24日 総務省令第10号）
- 「火災通報装置の基準の一部を改正する件」
（平成28年2月24日 消防庁告示第6号）
- 「消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の公布について（通知）」
（平成28年2月24日 消防予第49号）
- 「消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の運用上の留意事項について（通知）」
（平成28年8月3日 消防予第240号）

主な改正内容

(1) 火災通報装置の電話回線との接続等に関する基準の改正

- ①機能に支障を生ずるおそれのない電話回線を使用すること
- ②必要に応じて回線終端装置等を媒介することにより適切に使用すること
他の機器の影響により機能に支障がないよう規定

(2) 消防機関からの呼び返し信号を確実に受信するための基準の改正

- ①音声情報送後の待機時間を5秒→10秒に延長
- ②通話切れの場合の呼び返し信号の待機時間を10秒間とること

(3) 確実な電源供給のための基準の改正

- ①IP電話を使用する場合の回線終端装置等の予備電源対応
- ②常用電源使用時には分電盤と回線終端装置等の間に、開閉器を設けない等
- ③分電盤の開閉器に火災通報装置に係る回線終端装置等用の旨の表示記載等

従来のアナログ電話回線とIP電話回線では停電時の動作がちがいます。

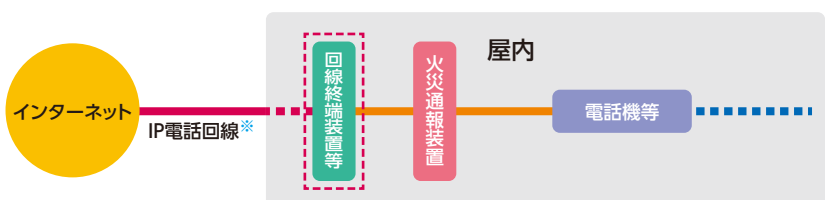
アナログ電話回線の場合

電話回線が直接火災通報装置に接続されます。
停電時も一定時間火災通報ができます。



IP電話回線の場合

回線終端装置等で出力されるアナログ電話信号が、火災通報装置に接続されます。回線終端装置等に予備電源がないと、停電時にIP電話回線が使用できない状態となりますので、火災通報動作できません。したがって、回線終端装置等に停電時バックアップする予備電源が必要となります。（P.2参照）



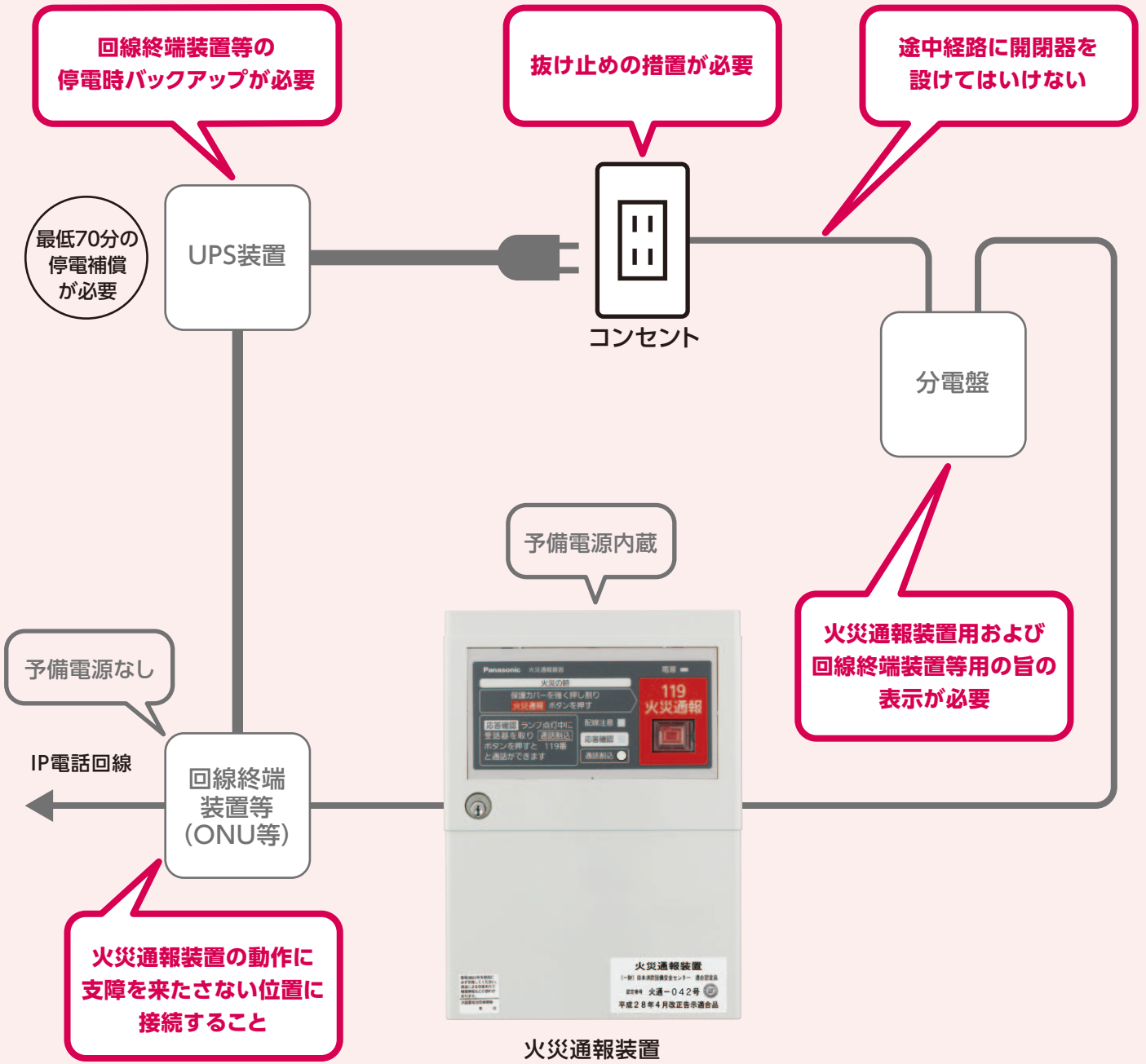
※使用するIP電話回線は、119番への発信・逆信が可能なこと。

IP電話回線に接続する火災通報装置の運用上の留意事項(必要な措置)

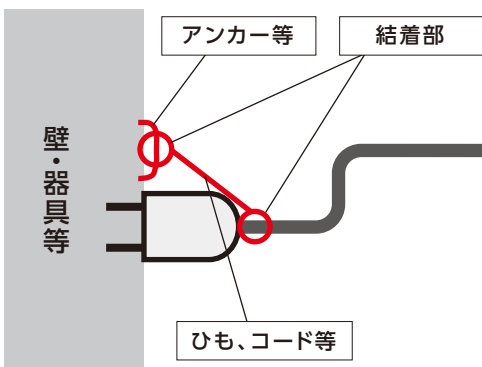
参考：消防庁通知(平成28年8月3日 消防予第240号)

「消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の運用上の留意事項について(通知)」

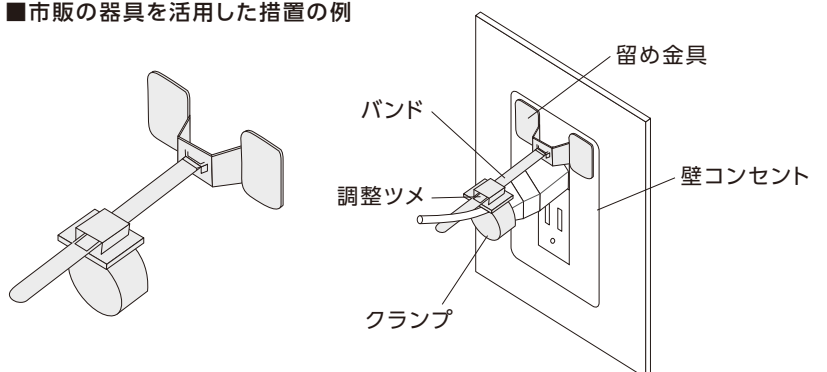
 = 必要な措置



配線の接続部が、振動または衝撃により容易に緩まないような措置の例



■市販の器具を活用した措置の例



新基準にもしっかり適合。ワンタッチで住所や名前などを正確に伝えます。

特長

平成28年4月改正告示適合品

平成28年4月改正告示適合品

従来からのアナログ電話回線に加えて、近年普及してきているIP電話回線（インターネットプロトコルを用いて音声伝送を行う電話回線）への接続にも対応しました。

環境を配慮しコイン電池レスへ

火災通報装置の本体メモリの停電時バックアップの方式を変更して、コイン電池を使用しなくなりました。廃棄物の削減とともに、電池の取替えの心配が低減されます。*

電話機増設装置の電話機接続可能台数は8台へ拡大

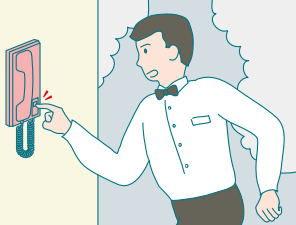
3台以上の専用電話機を接続する場合に併用する電話機増設装置は、接続可能な専用電話機が従来の5台から8台へアップしました。火災通報装置本体へ電話機増設装置2台を接続すれば、専用電話機は最大16台の接続が可能です。

*停電時の本体動作用の電池（鉛蓄電池 品番:BGF9902）は必要です。

機能

1 操作はワンタッチ。

火災通報装置または火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押すだけで、119番に自動通報。使用中の電話は強制的に切り、119番通報を優先します。



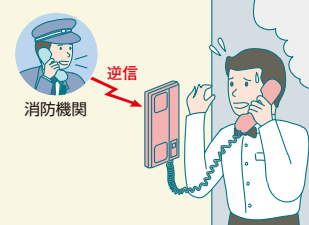
2 住所や名前を自動通報。

119番にはあらかじめ録音された通報メッセージを自動通報。住所や名前など消防機関が必要とする情報を正確に伝えます。



3 消防機関からの確認（逆信）に应答。

通報メッセージを受信した消防機関から、確認のための逆信が入ります。火災通報専用電話機（あるいは一般電話機）が鳴動しますので、受話器を取って应答します。



4 119番以外の一般通報も可能。

消防機関からの逆信終了後、管理責任者・関係者などに順次通報メッセージを送ることもできます。（最大16か所まで）



火災通報装置関連機器

本体



火災通報装置（応答確認ランプ付）
新 **BGF1181**（音声ロムパック別売）
希望小売価格 140,000円（税抜）

音声ロムパック



音声ロムパック
BGF93
希望小売価格 18,000円（税抜）

専用電話機



専用電話機
BGT1192
希望小売価格 22,000円（税抜）

ランプ・ベル



確認ランプ **BGT9001K**
希望小売価格 1,700円（税抜）
通報ベル **EA4643K**
希望小売価格 3,900円（税抜）

専用電話機増設装置



専用電話機増設装置（8台対応型）
新 **BGT9318**
希望小売価格 70,000円（税抜）

連動停止スイッチ箱（有線）



連動停止スイッチ箱（DC24V）
BGT9010KH
希望小売価格 15,000円（税抜）

特定小規模施設用ワイヤレス感知器と連動する場合などに使用します。



連動停止スイッチ箱（DC12V）
BGT9011H
希望小売価格 15,000円（税抜）

連動停止スイッチ
（特定小規模施設自動火災報知設備専用）



ワイヤレス連動停止スイッチ
BGW9200
希望小売価格 15,300円（税抜）

注）BGF1181には別途BGF93音声ロムパックが必要です。必ず合わせてお求めください。

ご注意 火災通報装置本体と音声ロムパックの互換性にご注意ください。

		音声ロムパック			専用電話機	
		従来品		現行品		
		BGF91	BGF92	BGF93		
火災通報装置本体 （非常通報装置）	生産終了品	BGF1190・BGF1190K	○	×	×	BGT1191
		BGF11910・BGF1195・BGF11951	○	○	×	
	現行品	BGF1196	×	×	×	BGT1192
		BGF1197	×	×	○	
		BGF1181	×	×	○	

音声ロムパック
BGF91
希望小売価格 18,000円（税抜）

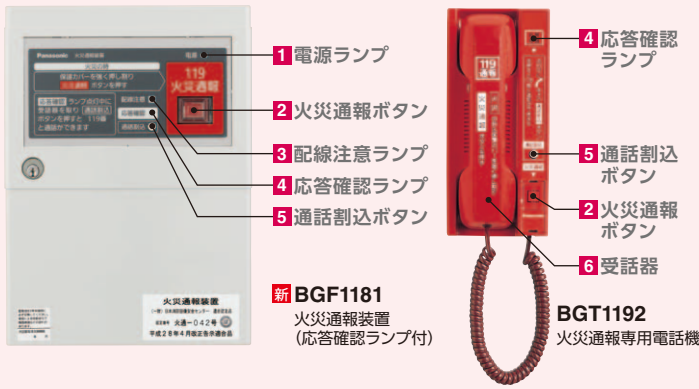


音声ロムパック
BGF92
希望小売価格 18,000円（税抜）



注）左記「生産終了品」の火災通報装置本体をお使いで、録音メッセージの変更のため音声ロムパックをお求めの際は、BGF91またはBGF92をご注文ください。

各部の名称と主なはたらき



- 1 電源ランプ**
交流電源が入っていることを知らせます。「早い点滅(0.5秒周期)」で通報動作中であることを、「遅い点滅(1秒周期)」で予備電源(鉛蓄電池)で動作していることを知らせます。
- 2 火災通報ボタン**
押しと119番に自動通報します。
- 3 配線注意ランプ**
火災通報ボタンまたは自火報入力配線が、断線や短絡した時点滅します。保守点検時に自火報入力による119番通報を停止させている時には点灯します。(別途登録設定が必要です。)
- 4 応答確認ランプ**
ダイヤル中は点滅し、相手が応答すれば点灯します。
- 5 通話割込ボタン**
押しと通報取り消し、または通話割り込み、通報停止(火災通報装置のみの機能です。)ができます。
通報取り消し
応答確認ランプが点滅中に、専用電話機の受話器を掛けたままで通話割込ボタンを押すと、通報を取り消すことができます。
通話割り込み
119番が応答後(応答確認ランプ…点灯)専用電話機の受話器を取り、通話割込ボタンを押すと119番と通話ができます。
通報停止 (火災通報装置のみ)
長押しすることにより、自火報入力による119番通報を停止することができます。(別途登録設定が必要です。)
- 6 受話器**
119番と通話するときに使います。

定格・仕様

■火災通報装置

認定番号	一般財団法人 日本消防設備安全センター認定番号 火通-042号 一般財団法人 電気通信端末機器審査協会 技術基準適合認定 A16-0095001
適用回線※1	一般加入者回線(アナログ回線) またはIP電話回線(ひかり電話など) 事業所集団電話回線(セントレクス) 注1) 火災通報装置は構内交換機の一次側に接続してください。 注2) 公衆電話回線などリバース機能のない回線では一般通報はできません。
回線種別	ダイヤル回線(10/20PPS)/プッシュホン回線
通報先ダイヤル番号※2	119または0119と一般通報先(最大24桁)
通報先容量	119と一般通報先16カ所(合計17カ所)※3
不応答先へのリダイヤル	119番通報時…決められた時間間隔で98回 一般通報時…決められた時間間隔で17回
通報メッセージ	火災通報ボタン操作時と自動火災報知設備連動時の音声メッセージ2種類(不定フレーズは共通です)
電源電圧	AC100V 50/60Hz
予備電源	鉛蓄電池 DC12V 800mAh(BGF9902)(60分経過後、10分の通報動作可能<常温>)
消費電力	警戒時 7VA 警報時 15VA
外部電源	DC12V 300mA
使用周囲温度	-5℃~+40℃
入力	火災通報ボタン(F1+, F1-) } 2(無電圧のメーク接点受) 自動火災報知設備連動(F2+, F2-)
出力	ベル鳴動(BELL) 確認ランプ(LAMP)

※1) 「適用回線に関するご注意」をご確認ください。また、IP電話回線を使用する場合、「IP電話回線のご利用にあたってのご注意」もご確認ください。(裏表紙参照)
※2) 0119は事業所集団電話回線(セントレクス)に接続したときに使用します。 ※3) 一般通報先への携帯電話の登録は、携帯電話が電波の届かない場所にあると通報できないため、おすすめしていません。

【通報メッセージ】

内容	固定フレーズ	不定フレーズ※4	固定フレーズ
火災通報ボタン操作時	ピピピ ピピピ 火事です 火事です	住所、名前などの個別メッセージ (16秒以内)	逆信してください (消防機関通報時のみ)
自動火災報知設備連動時	ピンポン ピンポン 自動火災報知設備が作動しました		

※4) 不定フレーズの内容は、事前に所轄消防署と打ち合わせてください。

● 通報メッセージは「固定フレーズ」と「不定フレーズ(住所、名前など)」を組み合わせで作ります。メッセージ(不定フレーズ)の録音は当社で承ります。

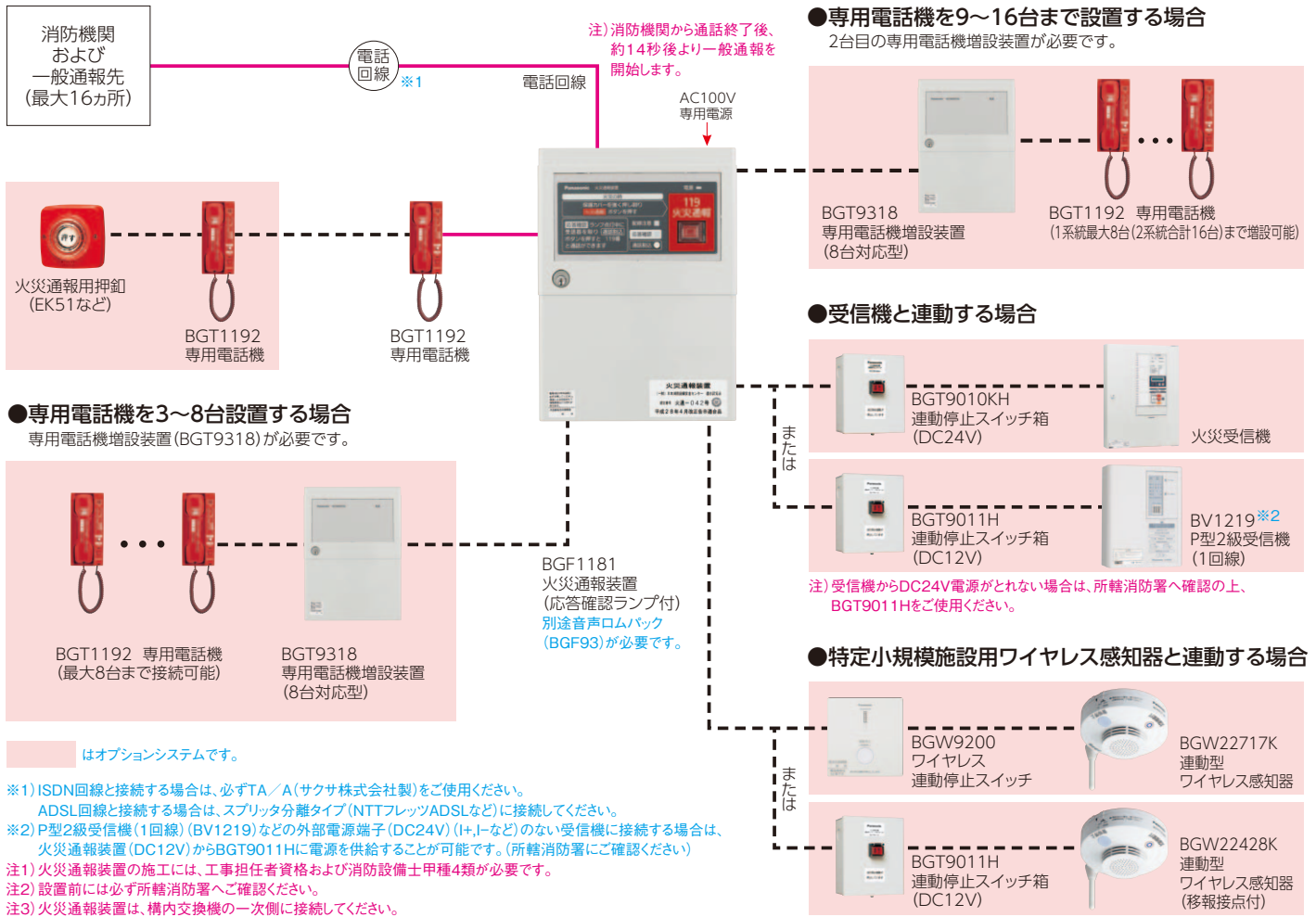
■専用電話機増設装置

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	警報時最大 15VA
予備電源	鉛蓄電池 DC12V 800mAh(BGF9902)
使用周囲温度	-5℃~+40℃

■火災通報専用電話機

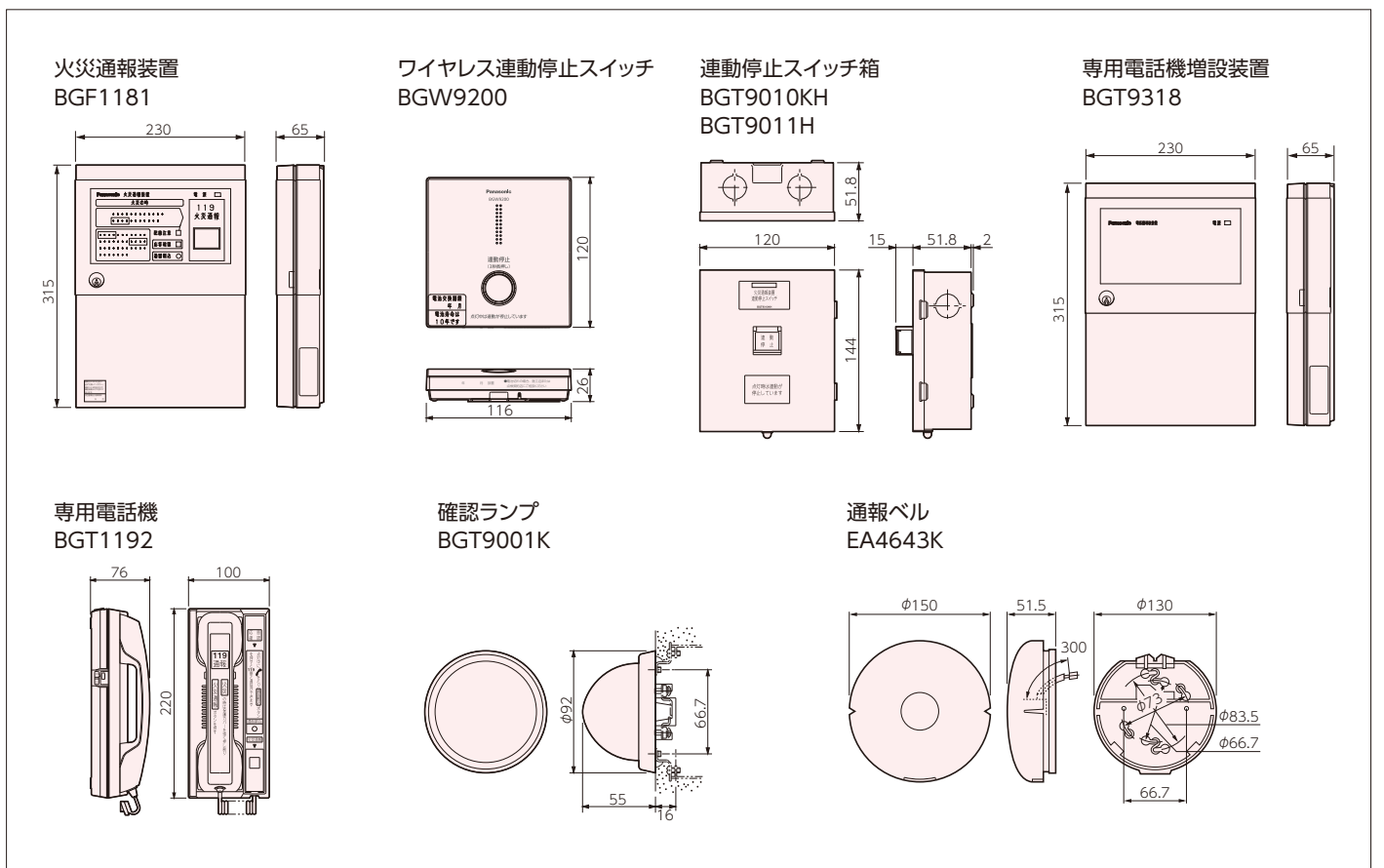
認定番号	一般財団法人 日本消防設備安全センター認定番号 火通-023号 一般財団法人 電気通信端末機器審査協会 技術基準適合認定 P96-0025-0
使用電源	DC12V 消費電流 30mA
使用周囲温度	-5℃~+40℃

システム系統図 〈専用電話機(BGT1192)を使用する場合〉



寸法図

単位:mm



⚠️ 適用回線に関するご注意

従来のアナログ電話回線をご使用する際の注意事項に加えて、適用回線についてはご注意ください。

- 消防機関(119番)への発信、消防機関(119番)からの逆信ができない回線には使用できません。
- 火災通報装置を接続する回線(IP電話回線アダプタなどのアナログポートを含む)が通報先応答にて極性反転(リバース)しない場合は、一般通報機能を使用できません。(例:公衆電話回線など)
- 火災通報装置を接続する回線が、通報先応答にて極性反転(リバース)しない通報先は、一般通報機能の通報先に登録できません。(例:フリーダイヤル®などの着信課金サービスへの通報)
・フリーダイヤル®は、NTTコミュニケーションズの登録商標です。
- IP電話回線をご使用になる場合は、関係する省令、告示に従い、設置・運用してください。(下記「IP電話回線のご利用にあたってのご注意」を参照してください。)

⚠️ IP電話回線のご利用にあたってのご注意

この商品は、インターネットプロトコルを使用した電話回線(IP電話回線)に接続することが認められている火災通報装置です。火災通報装置をIP電話回線に接続してご使用になる場合は、以下のご確認、ご対応をお願いします。

① 消防機関(119番)への発信、逆信ができること

消防機関(119番)への発信、消防機関(119番)からの逆信ができないIP電話回線には使用できません。(例:050・・・のIP電話など)

② 火災通報装置の接続位置に注意

一般電話機やファクシミリなど、同一のIP電話回線に接続する他の機器などが行う通信の影響により、火災通報装置の機能に支障を生じるおそれのない回線契約および接続をしてください。

③ 回線終端装置にも予備電源(UPS装置など)が必要

ご使用になるIP電話回線を構成する機器(回線終端装置など)が存在する場合、それらの機器に対しても、火災通報装置と同様の電源の接続方法および同様の動作時間を可能とする予備電源が必要となります。また、構成する機器が存在しない場合でも、その回線が停電時に使用可能である必要があります。

④ 電源コンセントの抜け止め措置、分電盤の開閉器に用途表示が必要

回線終端装置等の回線構成機器の電源コンセントは、振動又は衝撃等で容易に緩まないような措置(抜け止め措置)が必要です。また、電源コンセント系統の分電盤には、火災通報装置の回線終端装置用の旨を示す表示が必要です。

⑤ IP電話回線の契約内容や回線終端装置の設定にも注意

ご使用になるIP電話回線の契約内容、回線終端装置などの設定によっては、消防機関(119番)との通話ができない可能性がありますので、詳細につきましては電話回線の通信事業者へご相談ください。



防災システムの情報はホームページでもご覧いただけます。

www2.panasonic.biz/es/densetsu/ha/bousai_net/

防災NET

検索

⚠️ 安全に関するご注意

- ご使用の前に、「取扱説明書」「施工説明書」をよくお読みいただき、ご不明な点はお買い上げの販売店または専門施工店にご相談の上、正しくご使用ください。
- このカタログに掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、また定期点検および機器のメンテナンスを必要とするものがあります。お買い上げの販売店または専門施工店にご確認ください。

ご使用にあたって

このカタログに記載の電気機器の保証期間は1年間です。ただし、お買い上げ後メンテナンス契約を結んでいただくことが必要です。なお、ランプ・電池などの消耗品は、対象外とさせていただきます。商品保証書が添付されている場合は、添付商品保証書が優先されます。また、別途品質保証契約が結ばれている場合は、品質保証契約書が優先されます。保証期間は商品お買い上げ日(お引き渡し日)より上記期間、無料修理対応させていただきます。

ご購入の前に

- このカタログの掲載商品の希望小売価格には、消費税、配送・設置調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
- 商品改良のため、仕様・外觀は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- このカタログの掲載商品の詳細については、販売店・専門施工店または当社におたずねください。

eco ideas

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

詳しくはホームページで

<http://panasonic.com/jp/sustainability>

省エネ

省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。

省資源

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質*の使用を規制するRoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。
*鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤

お求めは当店で

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
マーケティング本部 情報商品営業部

〒105-8301
東京都港区東新橋1丁目5番1号
☎(03) 6218-1131 (代表)

© Panasonic Corporation 2017
本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このカタログの記載内容は
2017年8月現在のものです。

SBCT1E87N 201708-3.5YU